

日本写真学会では今年度も広く参加いただけるよう、対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド方式による年次大会を開催します。今回も後述する発表申込分野を立ち上げていますが、日本写真学会ではイメージング新規領域の開拓に取り組んでおり、申込は例示したものに限りません。写真やイメージにつながるの広い範囲からの発表申込をお待ちしています。

学術研究発表の場としての口頭発表、ポスター発表の他に、もっと気軽になんでも広く見せて議論したい場として一昨年から行っている「サロンレビュー・ギャラリー」を今年もオンラインにて開催します。後者のみの参加も可能ですので、この企画にもぜひご参加ください。

日本写真学会 会長 中野 寧

年次大会実行委員長 久下謙一

副実行委員長・大川祐輔、有賀昭貴、今泉祥子

【日 時】 2024 年 5 月 17 日(金)～18 日(土)

【会 場】 千葉大学 西千葉キャンパス けやき会館 + オンライン

【主 催】 一般社団法人 日本写真学会

【共 催】 国立大学法人千葉大学

【協 賛】 画像関連学会連合会 (画像電子学会、日本印刷学会、日本画像学会)

【発表形式とスケジュール】

5 月 17 日(金): 口頭発表(会場、オンライン含む)、ポスター発表(会場)、学会賞授賞式(会場)、情報交換会(会場)

5 月 18 日(土): 口頭発表(会場、オンライン含む)、ポスター発表(オンライン)・サロンレビュー・ギャラリー(オンライン)

口頭発表: 今年度も会場での対面による発表として、17,18 日に行います。発表者は原則会場にお

いでください。遠方で会場での参加が困難な方などのために、オンライン(Zoom システム)での発表も可能とします。実行委員長にお申し出ください。発表時間は質疑応答を含め 20 分の予定です。

ポスター発表(会場): 会場にて 17 日に対面で行います。ポスターセッション会場の部屋にポスターを貼り付けて展示します。発表では説明・議論・質疑応答を行います。コアタイムを設けますので、発表者はその時間帯にポスターの前にいてください。

ポスター発表(オンライン): SpatialChat の仮想空間にて 18 日にオンラインで行います。仮想空間の各部屋にポスターを掲示し、そこに入室した人とオンライン上で説明・議論・質疑応答を行います。コアタイムを設けますので、発表者はその時間帯にポスターの前にいてください。

⚠ 同一内容を対面とオンラインの両方で発表することも可としますが、発表件数は 1 件と数えます。

⚠ 口頭発表・ポスター発表の内容には、学術的新規性が含まれている必要があります。

サロンレビュー・ギャラリー: オンラインで 18 日に行います。SpatialChat のシステムを用いて行いますが、入り口はポスター発表(オンライン)と別になります。その中の各部屋に展示したいものをアップします。コアタイムを設けますが、発表者の在室は必須ではありません。在室時間をあらかじめ独自に設定・表示して、その間の入室者とやりとりすることもできます。内容は研究発表に限定しません。研究や技術のアイデア・企画、天体などの技を極めた写真、役に立つノウハウや製品、写真に関わる活動の紹介などを披露してもらい議論します。企業、大学、NPO などの組織紹介、作品や機器の展示、趣味の紹介や成果展示も含めます。口頭発表と同じ演題で申し込んで、詳細な資料をここでも展示することで、より深く議論することもできます。

17日(金)	18日(土)
口頭発表 (会場+オンライン)	口頭発表 (会場+オンライン)
ポスター発表 (会場)	ポスター発表 (オンライン)
学会賞授賞式 (会場)	サロンレビュー・ ギャラリー (オンライン)
情報交換会 (会場)	

【発表資格】

口頭発表とポスター発表の登壇者は、日本写真学会の正会員(シニア会員を含む)か学生会員であることが必要です。発表申込み時に入会すれば、登壇者となることができます。サロンレビュー・ギャラリーの発表者は会員でなくてもかまいませんが、大会への参加登録(サロンレビュー・ギャラリー単独の登録を含む)は必要です。

発表資格	口頭発表	ポスター発表	サロンレビュー・ギャラリー
会員・入会予定	○	○	○
非会員	×	×	○

【研究発表募集分野】

日本写真学会では発表分野を6つに再編しております。これらを独立に行うのではなく、各分野間の重なり・融合を促進するようプログラムを組みます。

発表募集分野

1. **大きな宇宙から小さな粒子： 宇宙科学と素粒子科学のイメージング** (天文・天体写真、素粒子理論・検出、原子核乾板など)
2. **環境・安全・エネルギーとつながる光と画像： 画像が見守る良い環境と安全な社会、光や画像が関わって生み出す持続可能なエネルギー**： (リモートセンシング、セキュリティ、太陽エネルギー、ドローンセンシング、フォトグラメトリーなど)
3. **光と画像が織りなすもの： 光と画像の技術革新** (光機能性材料、画像形成材料、メタマテリアル、カメラ、ディスプレイ、スマートフォンなど)
4. **変身する画像： IT 技術との融合で変身する画像が作る新しい社会** (写真画像の処理、写真画像評価、芸術との融合など)
5. **撮る画像と撮られる画像の文化と歴史： 撮る人間の意識と、撮られた画像のその後** (写真の表現と技術、感性、画像保存・アーカイブ・写真史など)
6. **心豊かな社会と写真画像： 画像によって得られる健康と、画像が働きかける豊かな心とが醸し出す生活** (健康管理、写真セラピー、介護、写真を用いた教育など)

【発表申込】

発表を希望される方は、大会用のGoogleフォームのサイト(下記に URL 記載、日本写真学会 HP にも掲載)から、登壇者または発表代表者の氏名とメールアドレス、発表題目、簡単な発表概要(200字以内)を送りください。なお、送信の際に大会発表規範の承諾が必要になります。

このメールアドレスに、申込 ID と、より詳しい発表情報を記入いただく発表申込確認のGoogleフォームの URL が送信されます。そこへ必要事項を記入して送信ください。同じグループからの複数の申込みであっても、申込ごとに ID の取得と申込確認Googleフォームへの記入をお願いします。口頭発表とサロンレビュー・ギャラリーを同じ演題で行う場合は、合わせて1件となります。

発表希望記入専用のGoogleフォームのサイト：<https://forms.gle/13suAGFNgKkjw2WG9>

発表申込締切日：2024年3月29日(金) ⚠️ **締切は厳守ください、延長は行いません。**

【講演要旨】

口頭発表・ポスター発表をされる方は、すべて講演要旨を作成いただきます。講演要旨は1週間前から大会 HP 上で見る您可以通过。また大会後に日本写真学会誌に掲載の予定です。予稿原稿提出の詳細については、発表者に作成要領をご連絡します。公開日は学会開催一週間前の5月10日となります。

予稿原稿締切日：2024年4月19日(金) ⚠️ **締切は厳守ください、延長は行いません。**

【大会参加登録申込】

全ての発表への参加が可能な登録と、サロンレビュー・ギャラリーのみの参加の2つの区分で参加登録の申込を受け付けます。

全発表への参加登録：会員(協賛学会会員を含む) 9,000 円、シニア会員 6,000 円、学生会員 2,000 円、学生団体会員参加費 1,000 円(学生団体会員として登録されている方のみ)、非会員 10,000 円、学生非会員 3,000 円、

サロンレビュー・ギャラリーのみへの参加登録：一般 3,000 円、学生 2,000 円 (会員・非会員の区別はありません)

大会参加費一覧						
	正会員	正会員 (シニア会員)	学生会員	学生団体会員	非会員	学生非会員
全発表に参加	9,000	6,000	2,000	1,000	10,000	3,000
サロンレビュー・ ギャラリーのみ参加	3,000	3,000	2,000	2,000	3,000	2,000

【発表表彰】

本大会の発表に対して、以下のように発表表彰を行います。

□ 口頭発表

- 学生優秀口頭発表賞： 優秀な口頭発表を行った学生に対して
- 若手優秀口頭発表賞： 優秀な口頭発表を行った若手に対して

□ ポスター発表

- 学生優秀ポスター発表賞： 優秀なポスター発表を行った学生に対して
- 若手優秀ポスター発表賞： 優秀なポスター発表を行った若手に対して

□ サロンレビュー・ギャラリー

- アート賞： おもしろいまたは優れた芸術性をもった写真あるいは静止画・動画等の発表に対して
- レビュー賞： おもしろいまたは優れた調査・研究・考察・レビュー等の発表に対して

【連絡先】

◆申込に関するお問い合わせは年次大会実行委員長へお願いします。

年次大会実行委員長 久下謙一 E-mail : kuge@faculty.chiba-u.jp

◆大会のお問い合わせは写真学会事務局へお願いします。

日本写真学会事務局 年次大会係 E-mail : info@spij.jp Tel : 03-3373-0724